

説明 車掌運轉手にして公休當日出勤したるものは其時間に對し五割を加給す。

又普通營業時刻後引續き徹夜勤務に服したる者には其時間に對し十割を加給す。

(ハ) 半期末手當 等級による標準額左の如し。

等級	賞與金	備考	等級	賞與金	備考
(六) 等	金六十圓	(補助車掌)	同	五級	金百五圓
(五) 等	金六十五圓	(に限る)	同	四級	金百十圓
四等	金七十五圓		同	三級	金百十五圓
三等	金八十圓		同	二級	金百二十圓
二等	金八十五圓		同	一級	金百二十五圓
一等	金九十圓				
特等六級	金一百圓				

説明 本手當は採點法により前示の通り支給する者にして現行に比し著しく増額す。

(ト) 公休手當 精勤者に限り時間給八時間分

車掌運轉手にして七日間連續勤務したる者に限り其次の公休日に手當として時間給八時間分を支給す。

但隔日勤務者には本手當を支給せず。

説明 現行は乗務員公休手當一日二十錢にして非乗務員日勤者には一日金七十錢を給し隔日勤務者には支給せず依て新に精勤獎勵の主旨を以て本文の通り給與す。

(チ) 精勤賞及優勝賞を廢す。

説明 現行精勤賞は三ヶ月皆勤者に金二圓優勝賞は其組員に對し一ヶ月金五十錢を行賞しつつあるも之を廢す。

(リ) 見習生教成手當 一人教成毎に金五圓給す。

説明 現行は車掌運轉手見習生教成手當一人教成毎に金二圓なれども之を本文の通とす。

三 進級方法

(イ) 現在の六等五等を併合して四等となし四等乃至二等は順次一等を繰り上げ三級乃至一等となし一等は之を特等に編入し特等は六階級に分ち更に新規採用者は満十八歳以上の者を四等に初任し十八歳未滿の者は之れを六等に初任す六等は一ヶ年を経たるとき五等となし満十八歳に達したるとき之れを四等となす六等の者と雖滿十八歳に達したるときは直ちに四等となす。

(ロ) 四等以上の各等級別進級期間左の如し。

等級	期間	通算期間	等級	期間	通算期間
四等			同	五級	三年
					七年半